

老人の集い

私たち、上末吉老人クラブ連合会は老人の集いと称し(一丁目・ときわ会、二丁目・万年クラブ、三丁目・睦会、四丁目・寿会、五丁目・要会、三ツ池・百寿会、梶山・長生会)2ヶ月に一度、末吉地区センターに於いて外部より講師の方を招き、今、我々に必要な知識を学び、人生は百年に向かい邁進できますようセミナー等を開催しています。

今年度の一例をご紹介します。

- 5月……交通安全とオレオレ詐欺
- 7月……エンディングノートの書き方
- 9月……フレイル予防で健康寿命を延ばそう
- 11月……私と家族の「相続」予定

会の終了時には、お茶とお菓子を配布して喜ばれています。

最後に老人クラブの三大運動を軸に活動しています。

- 健康 (高齢期の健康維持・増進運動)
 - 友愛 (高齢者相互の支え合い活動)
 - 奉仕 (住みよい地域づくり等のボランティア活動)
- 会員募集中!
(上末吉地区老人クラブ連合会会長 古賀)



エンディングノート
は区役所・ケアプラ
ザにお問い合わせ
ください。

金曜えがお亭

金曜えがお亭は、地域65歳以上の皆さんが気楽に参加できる、月1回のたまり場(サロン)です。

今年度もコロナ感染防止対策で、受付ではマスク、消毒、体温、体調等協力願っています。プログラムでは、生涯学習ボランティア人材バンク「鶴見人ネット」より6月は種明かしもありの面白いマジック、10月はアコーディオンで季節の童謡を合唱、また初めて楽器を抱えた皆さんの笑顔が素敵でした。“当日見学歓迎”(中村喜久栄)



グラウンドゴルフ大会 11/12

紅葉シーズンを迎え行楽地が賑わう中、上末吉地区自治連合では各町会の交流と健康増進を目的としたグラウンドゴルフ大会が予定通り行われました。7町会の戦いが繰り広げられました。

結果発表 今回も圧倒的に強い四丁目町会が優勝しました。2位梶山自治会 3位五丁目町会 4位三ツ池Bチームでした。

最近では日頃からプレーされる方が増え、人気の種目となっているようです。

次回の大会も楽しみにしたいです。

於上末吉小学校



カ レ ン タ ー

※予定は変更する場合があります。

12月 2日 (金) 金曜えがお亭	2月 17日 (金) やよい会
12月 16日 (金) やよい会	2月 27日 (月) ぼんぼこりん広場
12月 19日 (月) ぼんぼこりん広場	3月 3日 (金) 金曜えがお亭
2023.1月 16日 (月) ぼんぼこりん広場	3月 6日 (月) 三ツ池親子ひろば
1月 20日 (金) やよい会	3月 17日 (金) やよい会
1月 27日 (金) 老人の集い	3月 24日 (金) 老人の集い
2月 3日 (金) 金曜えがお亭	3月 27日 (月) ぼんぼこりん広場

第44号 令和4年11月20日

上末吉地区社協だより

発行 上末吉地区社会福祉協議会 会長 渡辺 武

地域の話 梶山子ども会



今年も10月最終日曜日に梶山子ども会のハロウィンが開催されました。当日参加の子ども会員は33名。他にパパやママ、小さな兄弟姉妹たちも参加。4グループに分かれて、子ども会役員さんたちに引率されて町内の『お菓子の家』を訪ねました。仮装した子どもや恐竜も!

どのように運営されたのか、子ども会の永井桃子会長に伺いました。

Q いつから始まったのですか?
「7年くらい前からでしょうか。自治会が休会した年には休みました」

Q 何月ごろから準備をするのですか?
「4月に係を決めて、その人達中心に準備します。8月に『お菓子の家』を自治会の回覧で募り、今年は4軒協力いただきました。他に子ども会員の家も6軒ほど協力しています。配っていただくお菓子は事前に届けます」

Q 子供達の感想はどうでしょう?
「いつも、みんな楽しかったといっています。子ども会で一番盛り上がる行事です」

子どもも大人もみんな楽しかった! 《梶山ハロウィン》

Q 梶山子ども会では他にどんな活動があるのでしょうか?

「今年はクイズラリーをやりました。これからミニ運動会を予定しています。小さな子ども会なので、まとまりやすいようです」

『お菓子の家』になった梶山長生会の川嶋春子会長にも感想を聞きました。

「仮装した男の子がお菓子をくれなきゃいたずらするよっていうから、怖いからあげるわっていったの。とても楽しかった。来年もやりたいわ。ハロウインの飾り付けも増やしちゃったから」。

ハロウインは、期せずして、三世代交流になっていると感じました。

来年も無事開催されることを楽しみに待っています。



第17回「敬老のつどい」

今年で17回を迎えた「敬老のつどい」は、新型コロナウイルス感染予防のため、3年連続中止となりました。昨年同様、赤飯・どらやき・お茶をお配りしました。例年地区センターで行われる「敬老のつどい」の催しは中止にはなりましたが、各町会までなら取りに行けるとのこともあり、お祝いの品を申し込まれた方々が、嬉しそうに取りに来られました。

一丁目80名・二丁目114名・三丁目80名・四丁目125名・五丁目50名・三ツ池200名・梶山49名、昨年より35名ほど多い合計698名の申し込みでした。来年こそは地区センターでの開催を楽しみにしたいと思います。(小林)





どうなるの？ 3回目の冬のコロナ Part20



調査報告します

今回はまず、クイズからです。

この冬、新型コロナウイルスとインフルエンザが同時に流行することが懸念されています。そこで

- ① 同時流行で、政府は最大一日 人の患者数を想定しているでしょうか
- ② 第7波で、7月から9月の3か月間の感染者数はおよそ 人だったでしょうか (回答は、この記事の最後にあります)

ワクチン5回目の接種券が届きはじめました

この原稿を書いている10月下旬に、新型コロナワクチン5回目の接種券が到着し始めています。すでに予約した人もいる一方、副反応が怖いから迷っているという人もいます。4回目も打っていないため、出かけたけど怖くて出かけられない、そして出かけないので気分が不調と訴える人もいます。ワクチンを接種するかどうかはそれぞれの判断です。

コロナ第7波の現状

現在、政府は「ウイズコロナ」政策により、規制はかけずに、経済を回すことに主眼を置いています。行動規制がないので感染者数はかなり減ったのだと思ってしまうのですが、10月末現在で実は去年の第5波(東京オリンピックのころ)の一日あたり感染者数のトップだった 25,975人(8月20日)より感染者数は多いのです。感染者数が多くても規制をかけないでいられるのは、死亡者数と重症者数が少ないからですが、これはワクチン接種の拡大が大きく寄与していると考えられています。特に接種率の高い高齢者では新規感染者数が少ないことが特徴です。



いま「コロナかな？」と思ったらどうするの？

「ウイズコロナ」政策により、感染した場合の対処法も変わりました。

高齢者と基礎疾患のある人など⇒従来どおり発熱外来を受診

上記以外の人⇒発熱外来は受診せず、自分で検査キットなどを使い、陽性なら役所に申告して自宅療養という方法になっています。これは保健所の負担を減らす方策でもあります。

この結果、正確な数に近い感染者数が把握されているのかは疑問があるとは思いますが、死亡率が下がってきているので、インフルエンザ並みの扱いに近づいているのかなと思われます。

第8波はいつやってくるの？

10月下旬、地方では増加傾向がはっきりしてきました。今、人口あたりの感染者数が多いのは北海道、山形県、長野県、秋田県など、すでに寒くなってきた道県です。

9月19日、イギリスのエリザベス女王の国葬の際、ノーマスクが日本では話題になりましたが、ヨーロッパはまた感染者数が増え始めています。9月には減っていたドイツ、フランス、イタリアなどで増加が始まりました。ヨーロッパではこれまで大きな感染の波をくぐってきたため、新型コロナウイルスに免疫を持つ人が多いにも関わらず、再度の感染増加に日本の専門家も危機感を持っています。

避けたいインフルとコロナの同時流行

日本と季節が逆の南半球のオーストラリアでは、今年は、例年より数カ月早くインフルエンザが流行し始めました。日本では、2020年と2021年の冬、インフルエンザは流行しませんでした。この冬はインフルエンザの流行が懸念されます。

インフルエンザと新型コロナの第8波が同時に来ると、発熱外来にかかりづらくなることが心配です。

同時流行に備える対策

先日、加藤厚労大臣が同時流行に備えた対策をまとめたリーフレットを発表しました。

対策1 感染が落ち着いている間に、新型コロナとインフルエンザ両方のワクチン接種を検討する

対策2 薬局に相談して、抗原定性検査キットや解熱鎮痛薬を早めに購入しておく

対策3 電話相談窓口などの連絡先を確認しておく

横浜市新型コロナウイルス感染症コールセンター
TEL 0120-547-059 045-550-5530

対策4 体温計、日持ちする食料などの生活必需品を準備する

対策5 重症化リスクが高い高齢者や基礎疾患のある人、妊婦などは、喉の痛みや発熱があれば、速やかに発熱外来を受診する

相変わらず、三密を避け、手洗い・消毒を続けましょう。コロナ対策はインフルエンザ対策にもなります。天気の良い日に散歩などの軽い運動と栄養バランスの良い食事は免疫力を高めます。家族以外の人との交流もストレス解消になります。グラウンドゴルフやボッチャ大会など、地域のスポーツイベントに参加してみてもいい？ 元気に冬を乗りきりましょう。

クイズ回答①75万(インフル30万人、コロナ45万人)、②1,200万人

「ぼんぼこりん広場」クリスマス会へどうぞ

10月のハロウィンにはおおぜいの親子さんにおいでいただき、ありがとうございました。12月19日はクリスマス会です。今年もサンタがプレゼントを持ってやって来ます。

出し物は現在検討中。お楽しみに。ぼんぼこりん広場は、未就園の子どもと保護者のための子育て広場です。上末吉地区の保健活動推進員会と民生委員の有志が15年前に立ち上げました。地区社会福祉協議会と連合町内会のご支援をいただき、開催しています。

毎月原則第3月曜日10時から12時、上末吉二丁目会館



10月のハロウィン

「鶴見区社会福祉協議会って何するところ？」 シリーズ⑧

～鶴見区社協の福祉学習・福祉啓発～ 「ふ・く・し」は、「**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせ

鶴見区社会福祉協議会では、主に学校や企業・地域のみなさんを対象として、自分たちのまちに暮らすさまざまな人の生活や、それを支える地域の人々、しくみなどを学び、地域や福祉への関心が高まるよう福祉の学習や啓発活動を行っています。

具体的には、例えば小学校から福祉学習の依頼を受け、担当の先生と“プログラムの目的やねらい、開催の規模など”をもとに実施内容を企画・検討し、当日の講師派遣や福祉機材の貸出をしています。

車いす体験、手話講座、高齢者疑似体験などの学習はイメージしやすいでしょうか？

ほかにも“パラスポーツ(障害者スポーツ)”や“校内・地域のバリアフリー”をテーマとする講座などを区社協の会員団体や地域ケアプラザ、また地域の皆さんにもご協力をいただきながら進めています。

自治会単位やサークル単位でのミニ講座も開催していますので、詳細は下記までお問い合わせください！

<問合せ先> 鶴見区ボランティアセンター(鶴見区社協内)



電話:045-504-5625(ボランティアセンター専用)
月～土曜日 午前9時～午後5時

高齢者体験中

